							参	考			
		価格	数量		価	格			数	量	
産地	品種銘柄	25年産米	25年産米	25年産米		24年産米		25年産米		24年産米	
		(26年6月)	(26年6月)	(26年5月)	対前月比	(25年6月)	対前年比	(26年5月)	対前月比	(25年6月)	対前年比
		1	2	3	1)/3)	4	1)/4)	5	2/5	6	2/6
北海道	ななつぼし	14,043	11,044	14,281	98%	15,516	91%	7,990	138%	197	5606
北海道	きらら397	13,583	8,045	13,881	98%	15,047	90%	6,319	127%	374	2151
北海道	ゆめぴりか	17,758	2,501	17,783	100%			2,226	112%		
青森	まっしぐら	12,312	2,541	12,887	96%	14,983	82%	4,555	56%	1,644	155
青森	つがるロマン	12,614	2,440	12,961	97%	15,011	84%	2,863	85%	463	527
岩手	ひとめぼれ	13,812	5,198	14,186	97%	15,878	87%	5,260	99%	1,072	485
岩手	あきたこまち	13,901	1,474	14,514	96%	15,849	88%	1,007	146%	236	625
岩手	いわてっこ	<u> </u>		13,666	_	-		335			
宮城	ひとめぼれ	14,320	23,243	14,438	99%	16,056	89%	12,991	179%	2,867	81
宮城	ササニシキ	14,915	636	14,840	101%	16,345	91%	414	154%	447	14:
宮城	まなむすめ	13,811	520	13,333	104%	14,862	93%	1,381	38%	100	52
秋田	あきたこまち	14,572	17,553	13,909	105%	16,886	86%	21,440	82%	8,504	20
秋田	ひとめぼれ	13,753	3,062	13,563	101%	15,933	86%	1,380	222%	563	54
秋田	めんこいな	12,843	312	13,527	95%	15,000	86%	883	35%	437	7
山形	はえぬき	13,706	9,477	13,779	99%	15,912	86%	7,345	129%	3,203	29
山形	つや姫	16,704	1,679	17,171	97%			906	185%		
山形	ひとめぼれ	13,740	1,239	13,954	98%	15,989	86%	1,357	91%	1,349	9:
福島	コシヒカリ(中通り)	13,040	2,190	13,294	98%	15,859	82%	6,253	35%	4,883	4
福島	コシヒカリ(会津)	13,396	4,236	15,204	88%	16,800	80%	1,548	274%	1,411	300
福島	コシヒカリ(浜通り)	Τ				16,067				1,561	
福島	ひとめぼれ	12,308	3,095	12,771	96%	15,775	78%	2,066	150%	2,481	12
福島	あきたこまち	11,885	318								
茨城	コシヒカリ	14,255	4,925	14,098	101%	16,314	87%	5,058	97%	3,271	15
茨城	あきたこまち	13,251	245	13,204	100%	14,658	90%	242	101%	223	110
茨城	ゆめひたち	T =				_		_			
栃木	コシヒカリ	14,469	11,355	13,942	104%	16,378	88%	6,939	164%	4,872	23:
栃木	あさひの夢	12,260	859	12,596	97%	15,119	81%	708	121%	497	17
栃木	なすひかり	T				15,157				295	
群馬	あさひの夢	12,622	330	12,631	100%	15,563	81%	305	108%	521	6:
群馬	ゴロピカリ	 									

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売 数量が5,000トン以上)である。

変重が3,000ドラ以上)である。
 2 産地品種銘柄ごとの価格 (①) は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格 (運賃、包装代、消費税相当額を含む 1 等米の価格) を加重平均したものであり、数量 (②) は、同契約の数量の合計である。
 3 価格に含む消費税相当額は、平成26年3月分までは5%、同4月分以除は8%で算定している。
 4 加重平均に際しては、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知

以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを対象としている。

⁵ 相対取引価格は、個々の契約内容に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて価格調整 (等級及び付加価値等(栽培方法等))が行われることがある。

⁶ 全銘柄平均価格(次々頁)は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均により算定。

⁷ ④及び⑥は前年産の価格、数量である。

[「]一」は、当該月の相対取引契約がなかったもの及び当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

⁹ 斜線は、当該年産米において産地品種銘柄の報告対象でなかったもの。

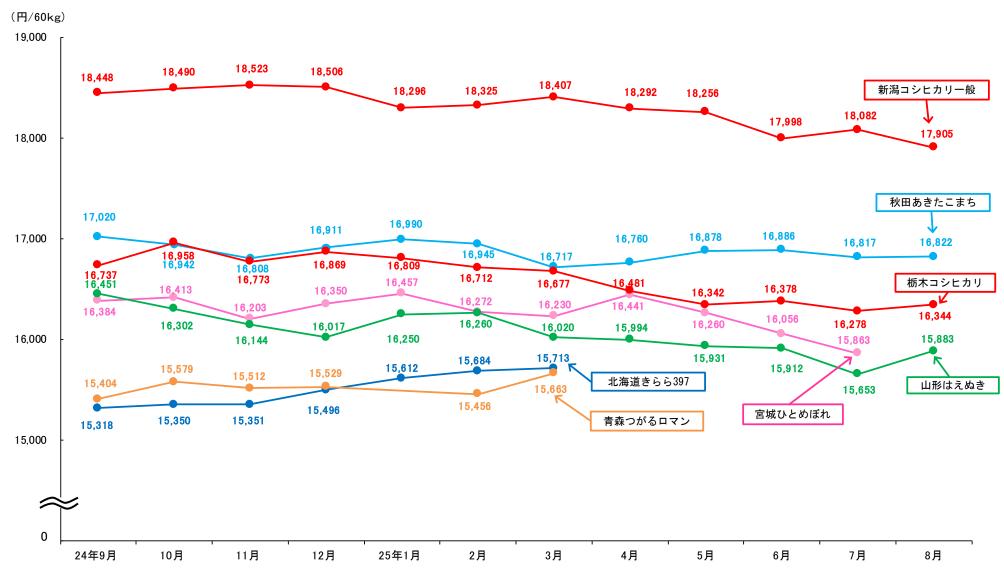
10 平成25年産米の相対取引価格・数量(平成26年6月分)(埼玉から奈良まで)

				- Y - Y Y		· · ·	7570	-			
相対取	<u>₹引価格・数量(境</u> 	<u>玉から奈</u> 	艮まで)				参	考	(単位:円	7/玄米60kg税	込、玄米トン)
		価格	数量		価	格		.,	数	量	
産地	品種銘柄	25年産米	25年産米	25年産米		24年産米		25年産米		24年産米	
		(26年6月)	(26年6月)	(26年5月)	対前月比	(25年6月)	対前年比	(26年5月)	対前月比	(25年6月)	対前年比
		1	2	3	1)/3	4	1)/4)	5	2/5	6	2/6
埼玉	彩のかがやき	13,678	444	13,930	98%	15,636	87%	747	59%	115	386%
埼玉	コシヒカリ	15,057	199	15,347	98%	16,277	93%	329	60%	336	59%
埼玉	キヌヒカリ	└									
千葉	コシヒカリ	12,885	5,838	13,412	96%	16,759	77%	2,873	203%	2,181	268%
千葉	ふさこがね	12,251	845	12,886	95%	16,723	73%	577	146%	290	291%
千葉	ふさおとめ	12,885	481	13,530	95%	16,191	80%	515	93%	357	135%
山梨	コシヒカリ	17,813	271	17,877	100%	17,977	99%	263	103%	295	92%
山梨	あさひの夢										
長野	コシヒカリ	15,470	3,626	16,135	96%	16,191	96%	1,075	337%	2,736	133%
長野	あきたこまち	14,318	296	14,206	101%	16,017	89%	172	172%	300	99%
静岡	コシヒカリ	14,916	617	14,878	100%	17,071	87%	577	107%	537	115%
静岡	あいちのかおり			13,633				118			
静岡	キヌヒカリ					_		_		_	
新潟	コシヒカリ(一般)	16,879	11,718	16,938	100%	17,998	94%	9,715	121%	22,548	52%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,739	2,492	21,382	97%	20,539	101%	1,734	144%	3,048	82%
新潟	コシヒカリ(岩船)	17,246	1,892	17,284	100%	18,281	94%	1,744	108%	2,189	86%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	17,713	1,049	17,425	102%	18,636	95%	1,321	79%	2,504	42%
新潟	こしいぶき	14,402	3,032	14,637	98%	16,171	89%	2,819	108%	5,164	59%
富山	コシヒカリ	14,518	5,248	14,565	100%	16,690	87%	5,673	93%	617	851%
富山	てんたかく	14,297	254	14,224	101%			427	59%		
石川	コシヒカリ	14,710	1,552	14,553	101%	17,016	86%	2,590	60%	3,688	42%
石川	ゆめみづほ	13,396	885	14,129	95%	16,017	84%	224	395%	383	231%
福井	コシヒカリ	14,705	1,647	13,878	106%	17,067	86%	5,819	28%	403	409%
福井	ハナエチゼン	13,372	734	12,909	104%			3,659	20%		
岐阜	ハツシモ	14,219	3,420	14,637	97%	16,304	87%	1,017	336%	403	849%
岐阜	コシヒカリ	14,950	1,114	15,148	99%			777	143%		
岐阜	あきたこまち	14,125	120			15,840	89%			242	50%
愛知	あいちのかおり	13,926	743	14,361	97%	15,669	89%	595	125%	1,165	64%
愛知	コシヒカリ	14,463	116			16,268	89%			604	19%
愛知	大地の風	14,095	104	_							
三重	コシヒカリ(一般)	<u> </u>				16,219				123	
三重	コシヒカリ(伊賀)	14,903	271	13,903	107%			1,251	22%		
三重	キヌヒカリ			13,450				363			
滋賀	コシヒカリ	13,853	3,474	14,580	95%	16,436	84%	2,165	160%	702	495%
滋賀	キヌヒカリ	13,478	525	14,391	94%			849	62%		
滋賀	日本晴	12,859	914	14,553	88%			148	618%		
京都	コシヒカリ	15,321	2,994	15,354	100%			1,828	164%		
京都	キヌヒカリ	14,462	1,239	14,135	102%			133	932%		
兵庫	コシヒカリ	15,219	1,965	15,210	100%			1,460	135%	<u> </u>	
兵庫	キヌヒカリ	13,158	1,167	13,927	94%	16,006	82%	434	269%	118	989%
兵庫	ヒノヒカリ	13,128	764	13,855	95%			455	168%	L	
奈良	ヒノヒカリ	15,152	288	15,176	100%	16,620	91%	368	78%	491	59%
奈良	コシヒカリ	_ =	_	-	_			-			
注:本家	長の注意点は前頁の服	却注を参照									

10 平成25年産米の相対取引価格・数量(平成26年6月分)(鳥取から鹿児島まで)

相対取	引価格・数量(鳥	取から塵	見島まで))					(単位:円	7/玄米60kg税	込、玄米トン)	
		価格	数量		価	格	参	考 数量				
産地	品種銘柄	25年産米	25年産米	25年産米	1100	24年産米		25年産米		24年産米		
		(26年6月)	(26年6月)	(26年5月)	対前月比	(25年6月)	対前年比	(26年5月)	対前月比	(25年6月)	対前年比	
		1	2	3	1)/3)	4	1)/4)	5	2/5	6	2/6	
鳥取	コシヒカリ	14,121	186	15,040	94%	15,597	91%	574	32%	306	61%	
鳥取	ひとめぼれ	13,613	384	14,046	97%	15,285	89%	525	73%	248	155%	
島根	コシヒカリ	15,474	2,566	14,442	107%	17,340	89%	2,249	114%	1,732	148%	
島根	きぬむすめ	14,751	1,042	13,315	111%	16,305	90%	1,029	101%	996	105%	
島根	ハナエチゼン	14,567	186	12,868	113%	15,834	92%	274	68%	107	174%	
岡山	アケボノ											
岡山	あきたこまち	12,652	355	13,333	95%			250	142%			
岡山	ヒノヒカリ	13,036	272			_				_		
広島	コシヒカリ	14,969	252	14,493	103%	-		5,391	5%			
広島	あきろまん			13,373		15,110		1,655		401		
広島	ヒノヒカリ	L		13,343				1,100				
山口	コシヒカリ	14,546	609	15,031	97%	17,059	85%	1,484	41%	967	63%	
山口	ひとめぼれ	13,750	930	14,240	97%			714	130%			
山口	ヒノヒカリ	13,738	1,016	14,476	95%	16,007	86%	670	152%	242	420%	
徳島	コシヒカリ	12,296	840	13,719	90%	_		273	308%	_		
徳島	キヌヒカリ			13,774	-	-		131	_	_	-	
香川	ヒノヒカリ	13,934	1,158	14,035	99%	16,006	87%	1,362	85%	1,266	91%	
香川	コシヒカリ	14,536	750	14,564	100%	17,227	84%	717	105%	693	108%	
愛媛	コシヒカリ	L				_			_	_		
愛媛	ヒノヒカリ	L				16,462			_	174		
愛媛	あきたこまち			_								
高知	コシヒカリ	13,068	486	14,034	93%	-		372	131%	_	_	
高知	ヒノヒカリ											
福岡	ヒノヒカリ	14,884	3,232	14,542	102%	15,930	93%	2,348	138%	807	400%	
福岡	夢つくし	16,813	1,678	16,787	100%	16,919	99%	1,050	160%	497	338%	
佐賀	夢しずく	14,758	342	14,767	100%	15,618	94%	322	106%	482	71%	
佐賀	さがびより	14,852	589	14,915	100%			773	76%			
佐賀	ヒノヒカリ			<u> </u>		15,319				168		
長崎	にこまる	15,718	182	15,522	101%			969	19%			
長崎	ヒノヒカリ	15,718	128	15,383	102%	_		837	15%			
長崎	コシヒカリ			16,015		_		223				
熊本	ヒノヒカリ	14,759	1,521	14,815	100%	16,891	87%	1,079	141%	1,505	101%	
熊本	森のくまさん	15,467	161	15,337	101%	16,499	94%	470	34%	115	140%	
熊本	コシヒカリ	15,658	803	15,771	99%	17,726	88%	347	231%	1,185	68%	
大分	ヒノヒカリ	14,815	426	14,380	103%	16,672	89%	843	51%	259	164%	
大分	ひとめぼれ	<u> </u>		L						_		
宮崎	コシヒカリ	15,443	211	15,533	99%			518	41%			
宮崎	ヒノヒカリ	14,514	114	14,597	99%	17,415	83%	144	79%	171	67%	
鹿児島	ヒノヒカリ	14,978	432	14,873	101%	15,697	95%	720	60%	279	155%	
鹿児島	コシヒカリ											
鹿児島	あきほなみ	15,313	329	15,302	100%			654	50%			
全銘柄写	平均価格、合計数量	14,328	202,808	14,467	99.0%	16,293	87.9%	187,502	108.2%	107,650	188.4%	

11 産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成24年産)



資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

² 相対取引数量が1,000トンに満たない月の相対取引価格は公表を行っていないことから、「北海道きらら397」及び「青森つがるロマン」は平成25年3月までの価格、「宮城ひとめぼれ」 は平成25年7月までの価格となっている。

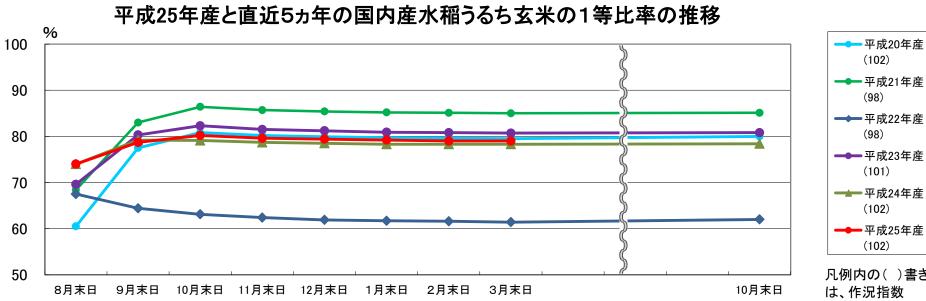
12 水稲うるち玄米の1等比率

	平成 25 年産	平成 24 年産	平成 23 年産	平成 22 年産	平成 21 年産	平成 20 年産
8月末日	74. 0	74. 0	69. 6	67. 5	68. 4	60. 5
9月末日	78. 7	79. 2	80. 3	64. 4	83. 0	77. 5
10月末日	80. 2	79. 1	82. 3	63. 1	86. 4	80.8
11月末日	79. 6	78. 7	81. 5	62. 4	85. 7	80. 2
12月末日	79. 4	78. 5	81. 2	61. 9	85. 4	79. 9
1月末日	79. 2	78. 3	80. 9	61. 7	85. 2	79. 7
2月末日	79. 0	78. 3	80. 8	61. 6	85. 1	79. 6
3月末日	79. 0	78. 3	80. 7	61. 4	85. 0	79. 5
最終	_	78. 4	80. 8	62. 0	85. 1	80.0

資料:農林水産省とりまとめ。

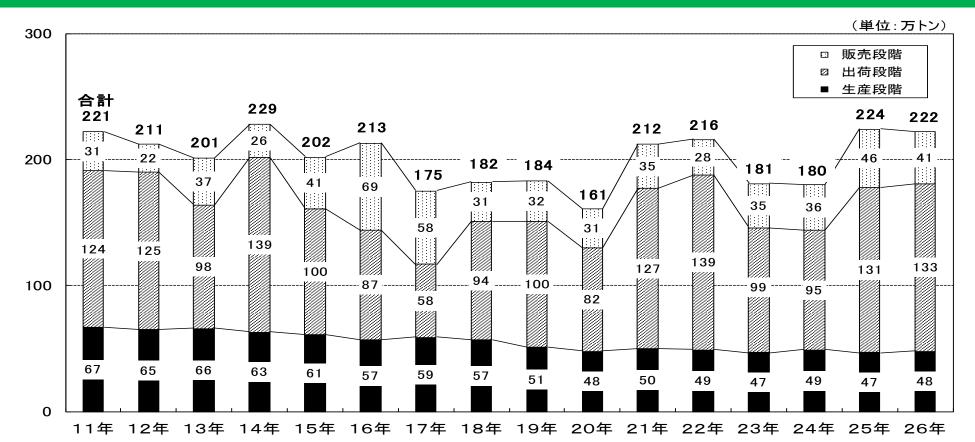
注1:「1等比率」とは、農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合。

注2:「最終」は、翌年10月末現在。





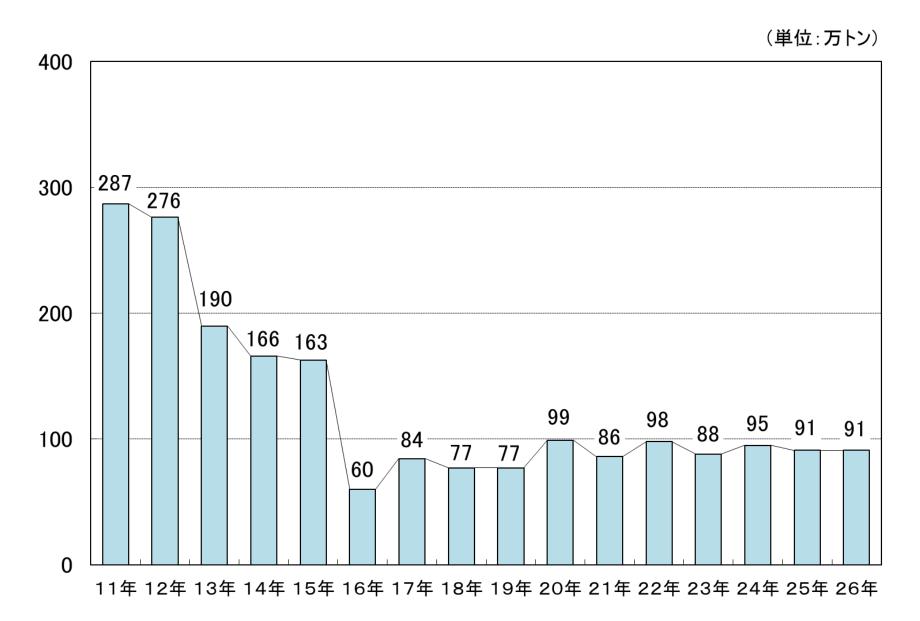
13 民間流通における6月末在庫の推移



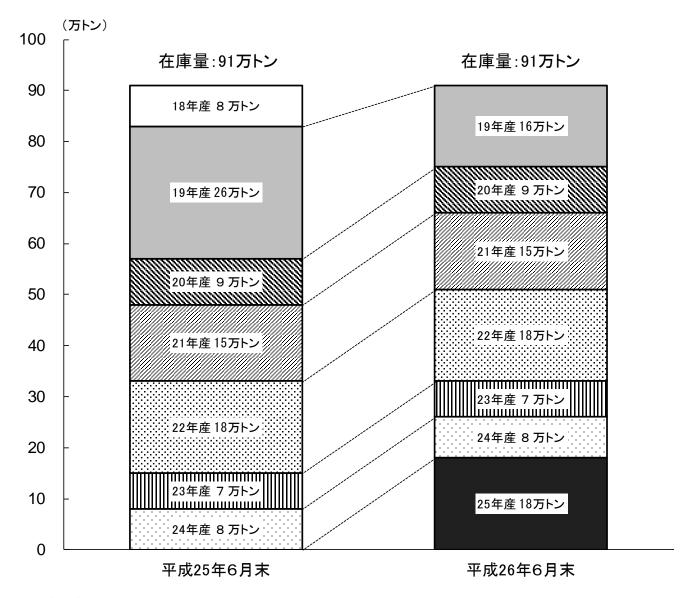
資料:農林水産省調べ

注:1)うるち玄米及びもち玄米の値である。

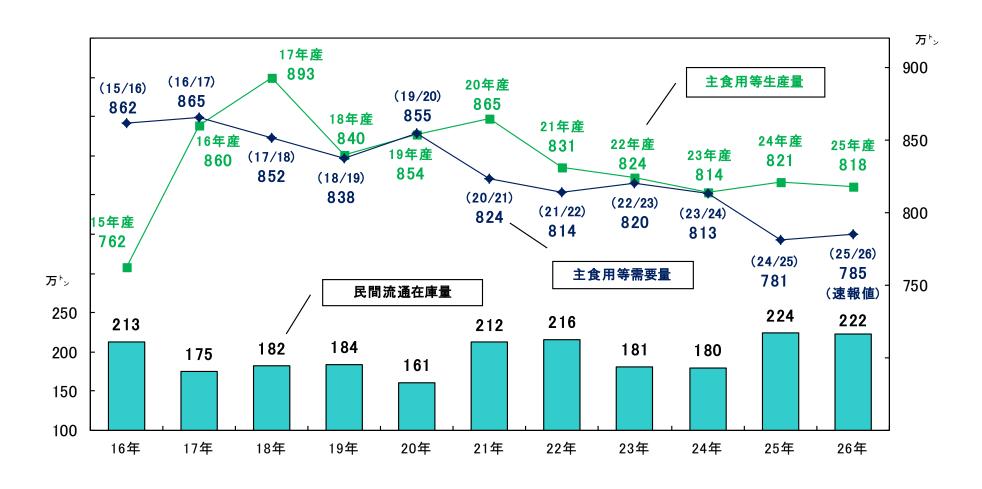
- 2)各年の民間在庫量において、
- ① 16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。
- ② 15年については、
- ・販売段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の旧登録卸売業者と1,000トン以上の旧登録小売業者の数量である。
- ・出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
- ③ 14年以前については推計値であり、
- ・販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。
- ・出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。 なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」(平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」を基に算出(精米在庫量を除く玄米在庫量)した数量である。
- 3)26年の出荷段階の在庫量には、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の買入予定数量35万トンは含まれていない。
- 4)ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。



15 政府備蓄米の在庫の状況



資料:農林水産省調べ 注:うるち玄米の数量である。



資料:農林水産省調べ

注:1)主食用等需要量は前年7月から当年6月までの需要実績である。

- 2) 主食用等生産量(水陸稲収穫量-(加工用米+新規需要米(飼料用・バイオ用を除く)+備蓄米)は、前年産の数値である。
- 3) 民間流通在庫量は当年6月末現在の数値である。

買入対象米 産地別優	• • •	第1回 (1月28日)	第2回 (2月12日)	第3回 (2月25日)	第4回 (3月11日)	第5回 (3月25日)	g	第6回(4月22日	1)	26年産 落札
産地名	数量	落札数量	落札数量	落札数量	落札数量	落札数量	提示数量	入札数量	落札数量	合計数量
北海道	14,080	1,010	13,070	0	0	0			ĺ	14,080
青森	20,450	20,450	0	0	0	0	/		1	20,450
岩手	8,000	8,000	0	0	0	0		/		8,000
宮城	11,000	11,000	0	0	0	0		/		11,000
秋田	25,500	25,500	0	0	0	0				25,500
山形	13,530	13,530	0	0	0	0				13,530
福島	20,000	20,000	0	0	0	0				20,000
茨城	1,480	425	971	84	0	0				1,480
栃木	11,170	11,170	0	0	0	0		/		11,170
埼玉	640	640	0	0	0	0				640
千葉	2,830	410	2,380	40	0	0				2,830
新潟	32,400	32,400	0	0	0	0	/			32,400
富山	12,840	153	12,687	0	0	0				12,840
石川	4,020	4,020	0	0	0	0	/			4,020
福井	640	640	0	0	0	0	/			640
長野	770	770	0	0	0	0				770
岐阜	740	0	740	0	0	0				740
静岡	100	0	73	27	0	0			/	100
愛知	1,810	0	600	0	780	0		/		1,380
三重	810	0	810	0	0	0		/	/	810
滋賀	1,600	1,600	0	0	0	0	/	/		1,600
兵庫	560	286	149	0	0	0				435
奈良	30	0	0	0	0	0			/	0
鳥取	1,320	0	1,320	0	0	0				1,320
島根	100	0	100	0	0	0		/		100
岡山	3,170	485	2,685	0	0	0	[/			3,170
広島	1,010	12	0	998	0	0			/	1,010
山口	340	0	0	340	0	0	1 /		/	340
徳島	1,520	303	780	395	36	6			/	1,520
香川	530	0	0	530	0	0	1 /			530
愛媛	340	0	340	0	0	0	1 /		/	340
高知	80	0	0	0	28	40			/	68
福岡	460	0	364	20	0	2			/	386
佐賀	830	0	0	830	0	0	1 /			830
長崎	80	0	20	0	0	0	1 /			20
熊本	590	0	590	0	0	0	1/		1/	590
大分	240	0	240	0	0	0	[/	/	1/	240
道府県別枠計①	195,610	152,804	37,919	3,264	844	48	Y		V	194,879
指定なし②	54,390	36,493	17,887	10	0	0	731	2,645	731	55,121
合計(①+②)	250,000	189,297	55,806	3,274	844	48	731	2,645	731	250,000

18 東日本大震災を踏まえての災害時に対応した備蓄の検討

精米備蓄の概要

≪背景≫

- ・東日本大震災発生後に、被災地から応急食料としての精米の供給要請
- ・大消費地である首都圏において一時的に米の品薄状態が発生

≪課題≫

- ・大規模災害への備えとして、一定量の精米のストックが必要
- ・大規模災害発生直後に大都市圏で発生が想定される需要増加・精米供給能力の低下に対応する体制の確保が必要

≪具体的な実施スキーム ≫

- □ 平成24年度から、政府が買い入れる備蓄米の一部を活用して精米(無洗米) 形態での備蓄を実施。
- ・備蓄量:500トン(東日本大震災発生~4月20日までの被災地向け精米供給量に相当)
- 実施主体:政府所有米穀の販売等業務の委託を受けた民間団体等
- □ **備蓄後一定期間を経過した精米については、非主食として販売。** (大規模災害が発生した場合は、本来の目的どおりに被災地等に供給。)

具体的なスケジュール(予定)

(備蓄用精米の切り替えの時期はイメージであり、今後変更となる可能性がある。)

食味等分析試験及び販売実証の結果概要

〇 食味等分析試験の結果概要(2産地品種銘柄平均)

0 10	1, 17 /7 1/1 1/20/20/20		-//	1113 13/	
		理化学分析		食味	評価
備蓄 期間	水分 (%)	脂肪酸度 (mg)	濁度 (ppm)	基準米との比較 による総合評価	主観による 絶対評価
基準米	14.3	3.0	12.0	-	-
2ヶ月	14.6	3.2	11.4	-0.1	3.5
4ヶ月	14.3	4.8	14.5	-0.6	2.7
6ヶ月	14.1	5.7	14.6	-0.3	2.8
8ヶ月	14.3	7.4	13.9	-0.2	2.7
10ヶ月	14.5	9.0	15.3	-0.6	2.5
12ヶ月	14.5	9.6	15.1	-0.6	2.6

- (参考)・水分は、農産物規格規程における精米(完全精米・一等)の基準が15.0%以下とされている。
 - ・脂肪酸度は、貯蔵期間の経過に伴い上昇することが知られている(特段の基準はなし)。
 - ・無洗米の濁度は、28ppm以下が望ましいとされている(全国無洗米協会の濁度基準による)。
 - ・基準米との比較による総合評価は、基準米を0として、±4の9段階で評価(-1は「わずかに不良」)。
 - ・主観による絶対評価は、「5. 非常においしく食べられる」、「4. おいしく食べられる」、「3. 普通に食べられる」、「2. 少し劣るが食べられる」、「1. 受け入れられない」の5段階で評価。
 - ※1 数値は確定値。
- ※2 食味等分析試験(理化学分析及び食味評価)は、分析機関に委託(食味評価(官能試験)は20名のパネリストにより実施)。
- ※3 精米備蓄を実施した3産地品種銘柄のうち、1産地品種銘柄については、胚芽の残存が多く見られ、無洗米形態での備蓄可能期間を調べる本試験の試料に適さなかったため、2産地品種銘柄の平均値をとっている。
- ⇒4低温倉庫(45)電場下)で保管にた場合品度2ヶ月経過後の精米でも、保食味は大幅には低下しない。

〇 販売実証(非主食用への販売)の結果概要

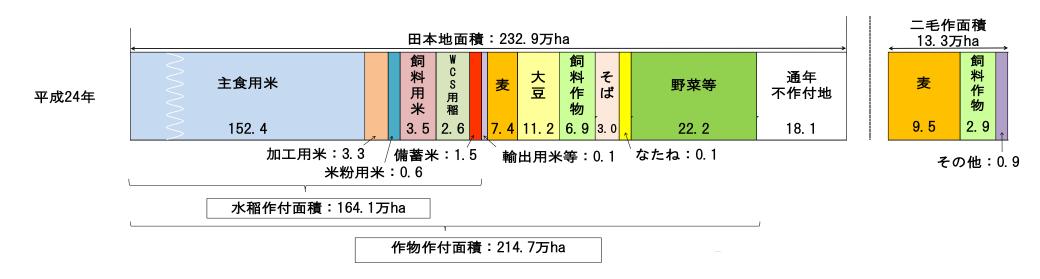
O ////		/// フロノ マン (Pロン)へ 1/00 3	~	
販売時期	備蓄期間	提示数量(t)	申込数量(t)	落札数量(t)
25年3月	2ヶ月	102	1,900	102
25年5月	4ヶ月	99	585	99
25年7月	6ヶ月	102	345	102
	8ヶ月	100	156 ^{**1}	77 ^{※1}
26年1月	10ヶ月	101	135	67
	12ヶ月	202	285*1	139 ^{※1}
	8ヶ月	100	0	0
26年3月	10ヶ月	23**2	0	0
20年3月	12ヶ月	34**2	0	0
	14ヶ月	63 ^{※2}	6	6
	9ヶ月	100 [*] 3	350	100
26年4月	11ヶ月	23**3	46	23
20年4月	13ヶ月	34 [*] 3	68	34
	15ヶ月	57 ^{※3}	114	57
(糸老) ※1 百亩/	八生3 打の由は粉畳む今ま	※9 96年1日の薄打除	※9 96年9日の薄打建	

(参考)※1 再度公告入札の申込数量を含む。※2 26年1月の落札残。 ※3 26年3月の落札残。 → 販売状況は、備蓄期間そのものよりも、その時々の需給状況に大きく左右される。

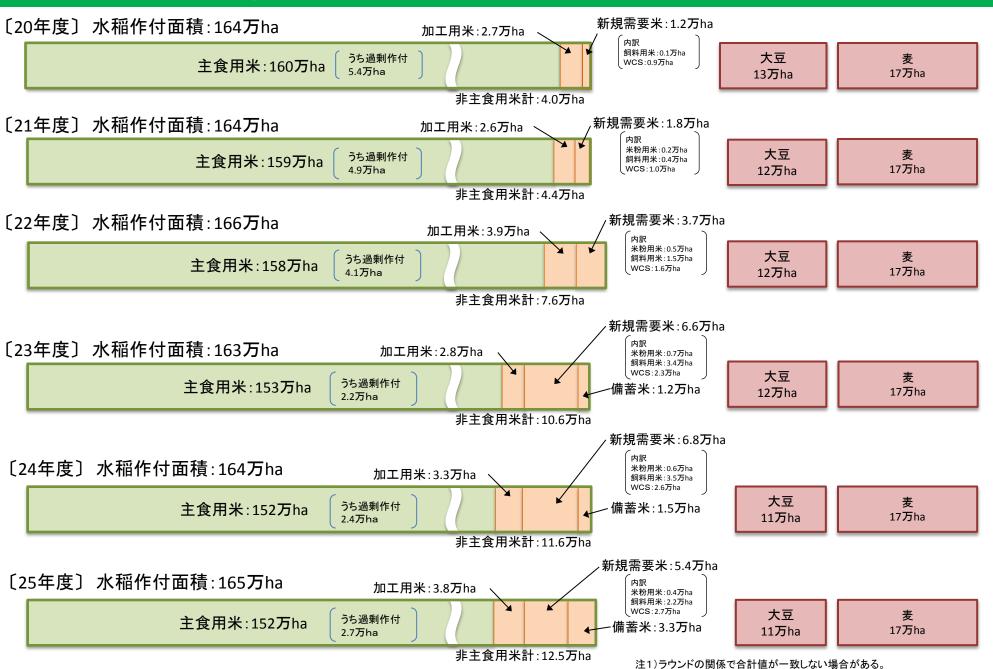
		平成26年						平成27:	年					平成28年			
	11月	1月	3月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	5月	_
常時500	. 24	年産米 100トン			25年	産 100トン				26年産 25	5062			26年産 250	 		
精米トン	24年産	米150トン			25年産 1	50トン								20年度 250	トン 		•
を備蓄	24 25	年産米 10トン 1		25年産	250トン			25年産	250トン			26年産 2	50トン				
_					<u> </u>												
								非主的	食用に販売	売							

19 水田の利用状況(平成24年度)

〇 田本地面積 :233万ha うち 主食用米作付面積 :152万ha



20 水田の利用状況の推移



31

注2)新規需要米の内訳については、0.1万ha以上のもののみ記載した。

21 全国の需給調整の取組状況の推移(平成16年産~26年産)

年産	生産数量目標	実生産量	2-1	①を面積換算 したもの ③	実作付面積	4-3	作況 指数 ⑤
	万トン	万トン	万トン	万ha	万ha	万ha	_
16	857	860	2	163.3	165.8	2.5	98
17	851	893	42	161.5	165.2	3.7	101
18	833	840	7	157.5	164.3	6.8	96
19	828	854	26	156.6	163.7	7.1	99
20	815	865	50	154.2	159.6	5.4	102
21	815	831	16	154.3	159.2	4.9	98
22	813	824	11	153.9	158.0	4.1	98
23	795	814	19	150.4	152.6	2.2	101
24	793	821	28	150.0	152.4	2.4	102
25	791	818	27	149.5	152.2	2.7	102
26	765	_	1	144.6		_	_

注1:②の実生産量(25年産を除く。)は、統計部公表の水稲収穫量から加工用米等の出荷実績数量を控除した数値。

^{2:}④の実作付面積(25年産を除く。)は、統計部公表の水稲作付面積から加工用米等の作付面積を控除した数値。

^{3:}④及び⑤の25年産の数値は、それぞれ統計部公表の平成25年10月15日現在の主食用作付見込面積及び作況指数。

^{4:}ラウンドの関係で内訳が一致しない場合がある。

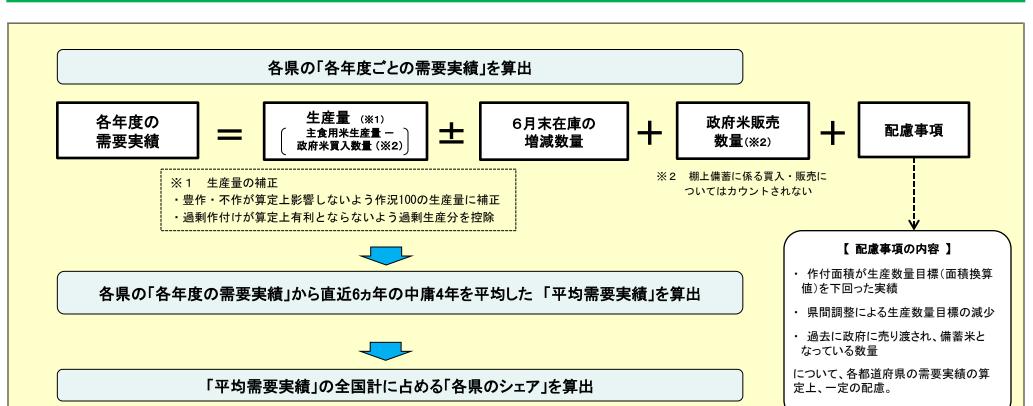
22 平成26年産米の都道府県別生産数量目標の設定方法

- 26年産米の都道府県別の生産数量目標については、25年産米と同様、
 - ① 需要に応じた生産を進める観点から、

 これまでどおり各都道府県の需要実績を基本として算定するとともに、
 - ② 各県の需要実績の算出に当たり、米の需給調整への取組等に対する配慮を行う。

全国の生産数量目標を「各県のシェア」で按分して県別の生産数量目標を決定

○ また、 東日本大震災関連として、23/24年(23年7月~24年6月)の需要実績の算出に当たり、<u>震災に伴う県間調整が、被災</u> 県における生産数量目標の減少要因とならないよう配慮を行う。



33

※ このほか、震災に伴う県間調整が、被 災県における生産数量目標の減少要因と

ならないよう配慮

23 平成26年産米の都道府県別の生産数量目標

(単位:トン、ha)

都道	府県	生産数量目標	面積換算値
北洋	声道	554,140	103,580
青	森	247,000	42,290
岩	手	275,540	51,700
宮	城	362,630	68,420
秋	田	433,040	75,570
山	形	358,570	60,370
福	島	348,420	64,880
茨	城	341,550	65,430
栃	木	309,330	57,280
群	馬	77,120	15,610
埼	玉	152,680	31,160
+	葉	249,280	46,770
東	京	770	190
神系	川	14,290	2,900
新	潟	535,640	99,380
富	山	192,340	35,820

都道	府県	生産数量目標	面積換算值
石	Ш	126,400	24,350
褔	井	128,130	24,780
山	梨	27,590	5,040
長	野	196,640	31,560
岐	阜	114,220	23,410
静	岡	83,800	16,080
愛	知	136,330	26,890
Ξ	重	146,070	29,210
滋	賀	163,380	31,540
京	都	76,350	14,940
大	阪	26,210	5,290
兵	庫	181,930	36,100
奈	良	41,840	8,160
和哥	次 山	35,040	7,080
鳥	取	67,240	13,080
島	根	92,570	18,190

		(辛四・ドン、na)
都道府県	生産数量目標	面積換算値
岡山	160,190	30,450
広 島	130,130	24,880
山口	110,820	21,990
徳 島	58,320	12,300
香川	71,040	14,240
愛媛	74,490	14,960
高 知	50,050	10,880
福 岡	184,380	36,950
佐 賀	135,230	25,760
長崎	62,640	13,100
熊本	189,920	36,880
大 分	117,780	23,420
宮崎	94,470	19,010
鹿児島	111,540	23,090
沖 縄	2,930	950
全国計	765万トン	145万ha

注:各都道府県の生産数量目標は、都道府県間調整前の数量である。

24 生産数量目標の都道府県間調整の推移

- 米の生産数量目標については、県間で生産数量目標を調整しあう都道府県間調整が行われている。 (受け手県は生産数量目標が増加し、出し手県は減少)
- 特に、23年産米については、東日本大震災の影響から、被災県とその他の都道府県との間で多くの調整が行われたところ。なお、震災を要因とする県間調整については、今後の生産数量目標の増加・削減要因としないことを前提として実施されている。

年産

調整数量

(単位:トン)

受け手県

年産	調整数量 (面積換算値)	出し	手県	受け手県		
		佐賀県	7,590	新潟県	3,510	
				福島県	1,480	
20年産	7,590			青森県	911	
20千座	(1,400ha)			茨城県	620	
				石川県	569	
				宮城県	450	
				山梨県	50	
		佐賀県	8,580	新潟県	5,040	
	9,520	大分県	690	石川県	1,673	
21年産	(1,800ha)	宮城県	250	長野県	1,579	
				山形県	931	
				山梨県	297	
22年産	2,670	佐賀県	2,655	新潟県	2,655	
22千座	(500ha)	岐阜県	15	愛知県	15	

十二生	洞定数里	出し于宗 ,			文リナ宗 ,			
	(面積換算値)			うち震災関連		_	うち震災関連	
		福島県	23,582	23,582	新潟県	14,054	12,884	
		宮城県	9,512	9,512	秋田県	9,138	9,138	
		佐賀県	1,100	_	青森県	3,380	3,380	
		山形県	70	-	山形県	2,492	2,492	
		青森県	8	_	石川県	1,665	1,665	
					北海道	1,500	1,500	
					長野県	907	907	
					富山県	603	603	
	34,272				兵庫県	200	200	
23年産	(6,400ha)				山梨県	100	100	
					福井県	100	100	
					千葉県	62	62	
					三重県	30	30	
					埼玉県	20	20	
					京都府	8	8	
					東京都	8	-	
					栃木県	5	5	
					奈良県	1	1	
					島根県	0	0	
		宮城県	4,415	4,415		6,413	6,341	
	7,601	福島県	3,114	3,114		1,034	1,034	
24年産	(1,400ha)	山形県	72	_	山形県	144	144	
		富山県	1	_	福井県	10	10	
					石川県	1	-	
		福島県	4,822	4,822		6,758	5,714	
		宮城県	2,237	2,237		794	794	
	8,115	山口県	990	-	石川県	448	448	
25年産	(1,600ha)	山形県	53	-	千葉県	53	53	
		東京都	8	-	山形県	50	50	
		石川県	4	-	青森県	8	-	
					富山県	4	-	

出し手県

注1: 県間調整については、国が仲介して行った県間調整のほか、方針作成者間調整のうち 県をまたいで調整したものも含む。

注2: ()の面積換算値は、出し手県の平年収量で換算した面積(100ha単位)。

注3:23年産については、ラウンドの関係で出し手県の数量と受け手県の数量は一致しない。

25 平成25年産米の都道府県別需給調整の取組状況

【25年産】

都道府 県名	生産数量 目標	実生産量	2-1	①を面積換算 したもの	実作付面積	4-3	4 / 3 -1	作況 指数	都道府 県名	生産数量 目標	
	1	2		3	4	(5)		6		1	
全国	トン 791万	818万	27万	ha 149.5万	ha 152.2万	ha 2.7万	% 1.8	102		(۱	1
北海道	572,940	601,300	28,360	107,100	107,000	▲ 100	▲ 0.1	102		170,380	ļ
青森	259,228	272,100	12,872	44,600	44,600	0	0.0	104	京都	78,770	ŀ
岩手	286,350	287,800	1,450	53,700	53,100	▲ 600	▲ 1.1	102	大阪	26,980	ł
宮城	378,533	388,600	10,067	71,400	70,400	▲ 1,000	<u> </u>	104	兵庫	187,940	ł
_ 秋田	447,224	450,200	2,976	78,100	78,700	600	0.8	100	奈良	43,040	ł
山形	374,196	386,100	11,904	63,000	63,500	500	0.8	102	和歌山	36,120	ł
福島	351,038	368,600	17,562	65,300	65,700	400	0.6	104	鳥取	70,700	ļ
茨城	348,890	398,900	50,010	66,800	73,600	6,800	10.2	104	島根	96,090	l
栃木	321,550	334,900	13,350	59,600	61,000	1,400	2.3	102	岡山	166,040	1
 群馬	80,300	84,000	3,700	16,300	16,500	200	1.2	103	広島	134,400	1
 埼玉	156,600	165,900	9,300	32,000	34,500	2,500	7.8	98	山口	115,360	Ì
千葉	255,753	329,100	73,347	48,000	59,400	11,400	23.8	104	徳島	59,810	İ
東京	802	668	_	199	161	▲ 38	▲ 19.1	101	香川	73,490	ŀ
神奈川	14,630	15,600	970	2,970	3,150	180	6.1	100	愛媛	76,180	1
新潟	552,428	594,400	41,972	102,800	107,100	4,300	4.2	103	高知	51,750	١
富山	196,264	198,200	1,936	36,600	36,300	▲ 300	▲ 0.8	102	福岡	191,240	İ
石川	129,844	130,500	656	25,000	25,000	0	0.0	101	佐賀	141,540	Ī
福井	133,360	134,700	1,340	25,800	25,600	▲ 200	▲ 0.8	102	長崎	65,240	Ī
山梨	28,500	28,700	200	5,210	5,210	0	0.0	101	熊本	197,710	Ī
長野	204,400	213,000	8,600	32,800	33,700	900	2.7	101	大分	122,650	1
岐阜	119,160	120,300	1,140	24,400	24,300	▲ 100	▲ 0.4	101	宮崎	99,130	1
静岡	85,980	88,000	2,020	16,500	16,900	400	2.4	100	鹿児島	115,520	Ì
愛知	140,130	153,100	12,970	27,600	29,500	1,900	6.9	102	沖縄	3,040	ĺ
三重	148,740	152,500	3,760	29,800	29,500	▲ 300	▲ 1.0	103		-	_

都道府 県名	生産数量 目標	実生産量	2-1	①を面積換算 したもの	実作付面積	4-3	4/3-1	作況 指数
	1	2		3	4	⑤		6
	トン			ha	ha	ha	%	
滋賀	170,380	169,300	▲ 1,080	32,900	32,000	▲ 900	▲ 2.7	102
京都	78,770	81,100	2,330	15,400	15,300	▲ 100	▲ 0.6	104
大阪	26,980	28,300	1,320	5,450	5,630	180	3.3	101
兵庫	187,940	189,800	1,860	37,300	37,500	200	0.5	100
奈良	43,040	48,200	5,160	8,390	9,150	760	9.1	103
和歌山	36,120	37,300	1,180	7,310	7,380	70	1.0	102
鳥取	70,700	71,600	900	13,800	13,800	0	0.0	101
島根	96,090	96,600	510	18,900	18,800	▲ 100	▲ 0.5	101
岡山	166,040	163,800	▲ 2,240	31,600	32,000	400	1.3	97
広島	134,400	132,600	▲ 1,800	25,700	25,500	▲ 200	▲ 0.8	99
山口	115,360	111,000	4 ,360	22,900	22,800	▲ 100	▲ 0.4	97
徳島	59,810	63,800	3,990	12,600	13,100	500	4.0	103
香川	73,490	72,900	▲ 590	14,700	14,500	▲ 200	▲ 1.4	101
愛媛	76,180	75,100	▲ 1,080	15,300	15,200	▲ 100	▲ 0.7	99
高知	51,750	57,900	6,150	11,300	12,900	1,600	14.2	98
福岡	191,240	182,500	▲ 8,740	38,300	38,100	▲ 200	▲ 0.5	96
佐賀	141,540	129,600	▲ 11,940	26,900	26,400	▲ 500	▲ 1.9	94
長崎	65,240	63,200	▲ 2,040	13,700	13,500	▲ 200	▲ 1.5	98
熊本	197,710	188,300	▲ 9,410	38,400	37,500	▲ 900	▲ 2.3	97
大分	122,650	114,900	▲ 7,750	24,400	23,700	▲ 700	▲ 2.9	96
宮崎	99,130	92,600	▲ 6,530	20,000	18,700	▲ 1,300	▲ 6.5	100
鹿児島	115,520	112,500	▲ 3,020	23,900	23,000	▲ 900	▲ 3.8	101
沖縄	3,040	2,510	▲ 530	980	890	▲ 90	▲ 9.2	91

注1:①は県間調整後の数値。

^{2:}②、④及び⑥は、それぞれ統計部公表の平成25年10月15日現在の予想収穫量(主食用)、主食用作付見込面積及び作況指数。

^{3:}③の都道府県欄は、原数が7桁以上の場合は3桁目を、6桁及び5桁の場合は2桁目を、4桁の場合は1桁目を四捨五入した値。

^{4:}ラウンドの関係で内訳と合計が一致しない場合がある。

26 酒造好適米の需要に応じた生産拡大について

- 〇 酒造好適米は、主食用米よりも<u>高価格で取引されている</u>こと等から、<u>需給調整の対象となる主食用米の生産</u> <u>数量目標の枠内で生産されている</u>が、清酒の需要が減少する状況下では、その生産を主食用品種へ切り替える ことにより、生産者は米の作付けを減らすことなく稲作経営を行ってきたところ。
- 〇 しかしながら、<u>長期的に減少傾向</u>にあった清酒の出荷量が、22年度以降はほぼ横ばいに転じるとともに、 <u>吟醸酒等の特定名称酒の出荷量は増加傾向。</u>

また、吟醸酒等については、今後、輸出を含めた需要拡大が期待されているところ。

〇 このため、今後の需要増に応じた生産拡大が円滑に行われるよう、<u>26年産米から取扱要領の見直しを行い</u>、 清酒メーカーにおける清酒の生産増に対応した<u>酒造好適米の増産分は、主食用米の生産数量目標の増減に左右</u> されることなく、その枠外での生産が可能となったところ。 (※)「需要に応じた**±産の推進に関する要領(機株水産省生産局長通知)

〇 清酒出荷量の推移

注:日本酒造組合中央会調べ。年度は暦年で25年度は速報値。 清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件(原料、精米歩留)に より、吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。

○ コメ・コメ加工品の輸出戦略 25年8月(清酒の部分(抜粋))

現状

- 清酒については、近年、額・量ともに顕著に増加していたが、2008年以降は増加のスピードが鈍化。
- 単価は上昇傾向であったものの、近年は横ばい。
- 輸出先国は米国、香港等が中心だが、以前に比べて 多様化。

輸出拡大に向けた目標と方向性

- 重点地域及び発信力の高い都市での事業にリソース を投入し、認知度の向上と販路の確保・拡大を図る。
- 酒造業者と生産者が結びつきをより強化すること等による原料米の数量や価格の安定供給の確保、特に酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

27 経営所得安定対策の概要(平成26年度)

畑作物の直接支払交付金(ゲタ)

(2.093億円)【水田・畑地共通】

【販売農家又は集落営農が対象】

【数量払】

交付単価は品質に応じて増減

対象作物	平均交付単価
小麦[_{水田·畑地}]	6,320円/60kg
二条大麦[水田·畑地]	5,130円/50kg
六条大麦[水田·畑地]	5,490円/50kg
はだか麦[水田・畑地]	7,380円/60kg
大豆[水田・畑地]	11,660円/60kg

対象作物	平均交付単価
てん菜	7,260円/ t
でん粉原料用おいしょ	12,840円/ t
そば[水田・畑地]	13,030円/45kg
なたね【水田・畑地】	9,640円/60kg

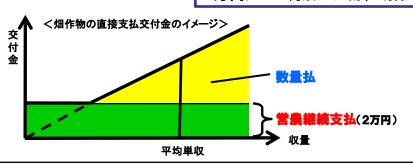
注1:小麦については、パン・中華麺用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算

注2: てん菜の基準糖度は、16.3度

注3:でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%

【面積払(営農継続支払)】

前年産の生産面積に基づき交付 2万円/10a(そばについては、1.3万円/10a)



米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ)

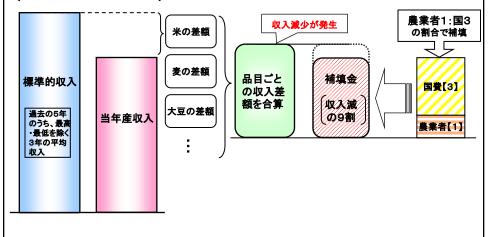
(751億円)

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょを対象に、 収入額の合計が標準的収入額を下回った場合は、減収額の9割 を補填(対策加入者と国が1対3の割合で拠出)

【認定農業者又は集落営農で一定規模以上の者が対象】 都府県4ha、北海道10ha、 集落営農20ha以上等、市町村特認あり

【補填額】

「 都道府県等地域単位で算定]



経過措置

米の直接支払交付金

(806億円)

【米の生産数量目標を守った販売農家又は集落営農が対象】

7,500円/10a

◇ 激変緩和のための経過措置として、26年産米から単価を7,500円/10aに削減した上で、29年産までの時限措置として実施(30年産から廃止)

米価変動補填交付金(25年産)

(200億円)

【25年度に米の直接支払交付金の交付を受けた者が対象】

25年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を補塡

◇ 26年産から廃止